



CLUB OFFICE
京都YMCA 三條本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2012

4

Bulletin

2012.4.1発行

第26巻第10号通巻316号

主
題

国際会長 Audere est Facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
アジア会長 To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
西日本区理事 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 理想を目指して変革と行動！
京都部部長 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ~思いやりと感謝の気持ちで粘り強く~
メネット主任 メンと共に歩める喜び

聖
句

信じない者ではなく、信じる者になりなさい。

ヨハネによる福音書20章27節



『プリンスクラブが教えてくれたこと』

第15代会長 高橋 宏和

京都プリンスワイズメンズクラブ設立25周年、誠におめでとうございます。

設立から今日まで数えきれないワークやイベントを通じて多くのメンバーを育て、また子供たちや地域に広く貢献されてきたことは並み大抵の事ではなく25年の重みを感じずにはいられません。その中で15代会長という大役を経験させて頂いた事は誠に光栄でありその経験に大変感謝しております。

今は野にある身に原稿の依頼を頂きささか戸惑ってしまったのですがその頃を思い出すうちに沢山の先輩や仲間の友情があった事を再認識しワイズによって今ある自分も育てられたのだと感謝の気持ちで一杯です。

15代会長期の標語は、【Shine-輝動-】
- Think & Enjoy the difference - でした。

活動する事で輝き、輝いたものはもっと大きなフィールドで活動出来る、そういう気持ちで一年間活動を続けたのを覚えています。その一年大変忙しく、しかし本当に楽しい会長期であった様に思います。

ふと当時のブリテンを読んでみると各メン

バーが一生懸命サバエで汗を流し、委員会で議論をし、共に笑い、共に悩み、共に泣き感動の一年を送った事がよく判ります。この頃から一大事業のクラブエクステンションの胎動も始まったような気がします。

自分自身の巻頭の記事を読み何か気恥ずかしいのですが、あの頃の気持ちにタイムスリップし、今の自分が過去の自分に励まされている変な現象が起こっています。ワイズメンズクラブでは沢山の事を教えてもらいました。組織運営の事や奉仕の活動を通じての貴重な経験等々、しかし学んだ中でも最も大切な事は一人一人の心の有り方でした。人と人との心それが融合すれば、どんな苦難も乗り越え大きな仕事を成し遂げ、限らない感動を皆に与えるという事でした。またプライベートで悲しい事があった時も、皆さんの真心でもってどれだけ励まされ、どれだけ勇気づけられたか測り知れません。

育てて頂いたそして勇気付けて頂いたプリンスクラブ25周年おめでとうございます、今後も多くのメンバーに感動を与え続けて行かれることを切に望んでおります。

会長主題

全ての者が
一つと成る為に

みんな仲間
生涯の友となろう！

会 長 岡西 博司
副会長 小野 敏明
三村 良行
書 記 西村 博
会 計 荒木 利彦

発行月間

Yサ・ASF

4月 例会案内

4日(水)通常例会

ゲストスピーカーに、写真家・北奥耕一郎さんをお迎えして、写真の撮り方など、写真にまつわるお話と実践お聞きます。デジカメ持参でご出席ください。

21日(土) 夜桜フェスタ

今年の夜桜フェスタは、例会振替で、赤ちょうちんの一杯飲み屋を出店します。御家族もお誘いいただき、リセンでの夜桜を楽しみましょう。

例会出席

3月第一例会	11名
3月第二例会	10名
在籍者数	16名
広義会員数	2名
出席率	85.7%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ファンド

0円

累計 299,432円

ニコニコ

3月第一例会	4,500円
3月第二例会	2,000円
累計	28,500円





3月第一例会

2012. 3. 7
プリンテン委員会



設立25周年記念例会の余韻の醒める間もない例会。今日は、その時のエピソードを語り合う例会かと思いきや、西日本区から「事業主任制度の見直しに関する提言」が呈示され、各クラブで周知検討して頂きたいという要望があり、それを受けて、まず西日本区の組織構成(代議員会・役員会・事業委員会など)と主任の置かれた7つの事業委員会の役目を、元西日本区書記である森ワイズに説明いただきました。その後、今回の提言内容、7つの事業委員会が5つの事業委員会と2つの委員会に統廃合される事を確認し合い、プリンスクラブとしては、その提言に賛成する事を確認しました。

その後は、頭の体操ということで、「川柳を作ってください」と、ドライバー委員長。メンバー全員、それなりに頭をひねって発表。

「いつまでも 居ると思うな 金と嫁」……………妙に納得する一句
「初孫や 寝てる子おこすな 怒られた」……………身に覚えのある一句
優秀作品2点を披露いたしました。



3月第二例会

2012. 3. 21

山口 政貴



13月21日 京都平安ホテルにて京都プリンスクラブと京都ウエルクラブ合同例会が行われました。ゲストスピーカーとして南部厚英氏をお迎え致しまして大変為になるお話を頂戴いたしました。

南部氏は半世紀近く教師生活をなされて、主にクラブ活動を通じて自分の反省点などを踏まえ、どのように人を育てていくべきかを教えて下さいました。私が心に残った一言は、「教えるべき立場の人はお手本となるように然るべき行動を示さなければならない」という事です。自分も見られているという事をいつも意識して行動をしなければならないと深く反省いたしました。

南部氏は、厳しくそして心底思いやりを持って人とぶつかっていく熱い教師であったであろうと感じ、そんな恩師に出会えた生徒は恵まれているなど羨ましくもありました。

堤 典子

3月第二例会は平安ホテルに於て久しぶりにウエルクラブ主催でゲストスピーカーをお招きしての開催となりました。開会点鐘と共に例会が始まり、いつもより緊張されているように見える(?)松田会長の挨拶、食事へと進んで行きました。

今回ゲストスピーカーとしてお越し頂いたのは、松田会長の恩師にあられる南部厚英先生で「子供たちの心をつかむ」という題材で講演して頂きました。長年に渡り、子供達や先生方の指導にあたられてきた南部先生のお話を聞きながら、スポーツや勉強を通して子供達を進むべき道へ導いて行く事の難しさや喜び、一緒に何かを成し遂げる事の大切さ等、人と人との関わり方の難しさや楽しさを改めて痛感する時間となりました。

日々、職種や年齢が異なる色々な方々とお逢いする仕事に就いている私にとって、今回の講演は“今までの自分を振り返りながらこれからの事を考える”という貴重な機会となりとても嬉しく思っています。仕事だけに限らず、クラブやプライベートに於ても「この瞬間自分は何をすべきか」という言葉を念頭に置きながら日々ステップアップするように努力して行こうと思います。皆様これからもどうぞ宜しくお願い致します。

最後になりましたが、南部厚英先生、御忙しい中貴重なお話を聞かせて頂き本当に有難うございました。





先日、平城宮跡へ行ってきました。広々とした遺跡の敷地に、大極殿と朱雀門が復元されていて、内裏を囲む堀越し遠くには若草山と大仏殿の麓が望め、とつものどかな風景に心が休まるのを覚えました。

平城京に暮らした人々も、この様な景色の中で、同じ様な春の風に吹かれていたのかなあと、古の奈良の都を想いました。

飛鳥京時代の大化の改新、藤原京時代の大宝律令と、古代国家建設事業が到達点を迎え、日本の国号も定められ、中央集権制が確立された初めての日本の首都が、平城京であったのかなあと考えます。

710年に元明天皇によって、藤原京(今の橿原市)から遷都。東西約4km強には八坊の大路が、南北約5km弱には、一条から九条までの大路が通って条坊制をなし、中央大極殿からは、朱雀門に向って朱雀大路が伸び、その南端には羅城門があったそうです。

平城京時代には、「古事記」「日本書紀」が完成され、「万葉集」も出来上がる。また東大寺では大仏殿が完成し、天平文化の花開いた時代であったが、平安京へ遷都するまでの約80年間には、都を何度も移す出来事もありました。

広大な敷地が保存されている平城宮跡。その中で立ち止まって、遠い昔へとタイムスリップしてみたいかでしょうか。

平城宮跡へは、近鉄京都線で大和西大寺下車、徒歩10分で佐伯門に到着がお勧め。



6月9-10日 西日本区大会 長浜の地に集まりましょう!

次期会長主査研修会

2012. 3. 10-11

小野 敏明

去る3月中旬、チサンホテル新大阪にて開催された【次期会長・主査研修会】に京都プリンスワイズメンズクラブ次期会長として参加。ワイズメンズクラブに参加して早5年、2年目に会計、3年目にYサ・ユース委員長、4年目ドライバー委員長、5年目には副会長。矢継ぎ早にクラブの要職を経験させて頂き、6年目に会長を拝命することに。

受付を済ませいざ会場へ。200名を超えるであろう研修会参加者。いつものクラブライフとは一味ちがう重厚な雰囲気にも圧倒される。開講点鐘にて開始された研修会は分刻みでプログラムを消化してゆく。【ワイズメンズクラブの未来】・【西日本区現状報告】・【役員紹介】・【次期理事・主査活動方針】・【会長の責務】・【キリスト教理解】などなどなど・・・。

ここでは紹介しきれない程の内容が詰まった研修。他クラブの次期会長さんたちと励ましあいながらなんとか乗り切る。また、人生初めての【聖日礼拝】も経験。説教を受け、聖書片手に【俄かクリスチャン】ではあるが貴重な体験をさせて頂いた。

次期会長を拝命した時のぼんやりとした不安は、今回の研修を受けることによって大部分が解消されたように思う。細かな研修内容はもちろんだが、他クラブの次期会長や主査さんなどと交流を図れたこと、また、今回のこのような研修もすべて役を拝命したワイズメンの手によってコツコツ企画されたものであり、その心構えは各クラブのクラブ運営にも通じると感じることができた。

今期も残すところあと2カ月。副会長の役目も全うしつつ、次期の準備へと少しづつ重心を移す時期。頂いた役目に精一杯挑みつつ、せっかくの機会を楽しみたいと心から願う。来期も今期同様に厳しいクラブ運営を迫られることは間違いない。今回の研修会で頂いた新約聖書を片手に自分なりにクラブの舵を切ってみようと思う。若輩者ではありますが、皆様、どうぞお手柔らかにお願い申し上げます!

サザライズだより

3月の第二例会はお散歩例会でした。17日(土)10時半に新宿駅に集合、東京の西郊青梅に向かいました。

目的地は青梅よりさらに2駅山の中に入った日向和田、吉野梅郷の下車駅です。まず駅前の手打ちそばで腹ごしらえ。小雨に煙る3月とは思えないような寒い日、お腹の中から温めなければと、地元の銘酒澤の井を一杯(or いっぱい)。

吉野梅郷に着いてみてビックリ。例年なら満開の梅も今年は3週間遅れでやっと咲き始め。あちらにチラリ、こちらにホラリ、黄色の蠟梅だけが見事な花を咲かせていました。広い広い梅林の中、あちらに一本、こちらに一本と気紛れに咲いている梅を楽しみながら日向和田の駅に戻り、次の目的地青梅に移動。昭和レトロの街を標榜する青梅の街を散策。昭和レトロ館、赤塚不二夫記念館などを見学、さらに丘の上の鉄道記念公園をめざし山登り。出来たばかりの時に来た印象と違い、人影もまばらな中、雨の中に動かない機関車や電車が何やら侘しげに展示されていました。

東青梅の駅前で焼き鳥屋を見つけ、その場で行程を終了させて、打ち上げをすることに決定。一日の寒さを吹き飛ばすかのように、大いに飲んで食べて、会話を楽しみました。

西条だより

3日の台風のような暴風雨、各地で死傷者が出たり、かなりの被害が報じられていましたが、被害はございませんでしたか?まさに春の嵐でした。

桜の開花も平年より遅れているようですが、春はやって来ています。我がクラブはまだ冬眠からさめず、これといったニュースもない有様です。活発な活動が出来るよう考えています。という訳であしからずお許し下さい。



YMCAはこの4月より、いよいよ「公益財団法人」として本格的にスタートいたします。

今あらためてYMCAの「使命」について議論を深めつつ、YMCAの「独自性」を社会へ発信し、私たちの「強み」をより強化をすることを目指し、歩みを始めようとしています。

YMCAの強みとして、100年を超える世界的なNGO(非政府組織)として認められていること、そしてキリスト教を基盤とした団体であることを明確にしつつ、「開かれた会員組織」であることがあげられます。そして、その会員お一人おひとりが会員組織であるYMCAに、会員としてオーナーシップを持って参画できることが、大いなる「強み」であり「独自性」であると考えています。その具現化に向けて、YMCAに連なる総て人々がメンバーシップバイデザイン(計画的な会員養成の考え)に基づき歩みつつ事業推進をはかることが求められます。ワイズメンおよびワイズメンズクラブとしても、「私の、私たちのYMCA」として積極的にこれらの強みを利用し、生かしていただければと考えています。

第8回

かもがわチャリティーラン

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。

YMCAのキャンプは、通常8～12名の子どもたちでグループを構成し、1～2名のリーダーが指導・援助に当たります。しかしながら、障がいのある子どもたちのキャンプでは、安全かつ有意義にキャンプを行うために、メンバーのニーズに合わせた指導体制が必要となります。マンツーマンに近い数のリーダーが必要になることもあります。

チャリティーランの支援金は、このリーダーたちの交通費や宿泊費、トレーニングの費用に用いられ、参加者の負担の軽減を図り、より多くの子ども達が参加できるようにします。



1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで今年も25名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきました。ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力のお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。
 キャンペーン期間 2012年4月～6月
 1口募金額 1,000円(何口お寄せいただいても結構です。)
 納入方法 京都YMCA各館受付または、郵便振替でも受け付けております。

3. 第8回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金)募集中

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。
 日時 5月20日(日) 午前9時～午後3時
 [クォーターマラソン選手受付8時30分開始]
 雨天決行
 場所 鴨川公園(特設コース: 北大路橋～出雲路橋 1週1.7km/北山橋～出町橋1週5.1km)
 種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000

円)/グループラン(1チーム5,000円)/一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生1名1,000円)/ペアラン(1チーム1,000円)
 スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。
 協賛金 一口 10,000円(企業・団体) 一口 5,000円(個人)
 物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

4. リトリートセンター第13回夜桜フェスタ開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントをおこないます。
 とき 2012年4月21日(土)午後5時～8時
 ところ 京都YMCAリトリートセンター
 集合・解散 現地
 京都駅・JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。
 参加費 大人(中学生以上)2,000円・小学生1,000円・幼児無料
 ※チケットは三条本館にて販売中

5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第62回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。
 日時: 4月21日(土) 午後7時～9時
 場所: 京都YMCA(三条柳馬場)
 参加費: お一人 300円(お茶代等)
 お申込は下記お電話またはvb@kyotoymca.or.jp まで
 京都YMCA 075-231-4388

4月 スケジュール

- 4日(水) 通常例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 21日(土) 京都部YYフォーラム
14:00 宇治リトリートセンター
- 21日(土) リトセン夜桜フェスタ
16:00 宇治リトリートセンター
- 25日(水) 役員会
19:30 京都YMCA

役員会報告

承認された議案 なし



Happy Birthday

- 24日 毛利 隆志
- 28日 永濱 貴章



第8回 京都YMCA

かもがわチャリティーラン



心身に障がいのある子どもたちのために・・・あなたの参加が支援につながります。